



みんなの知識をWikiで共有してみませんか？

by あひる

自己紹介

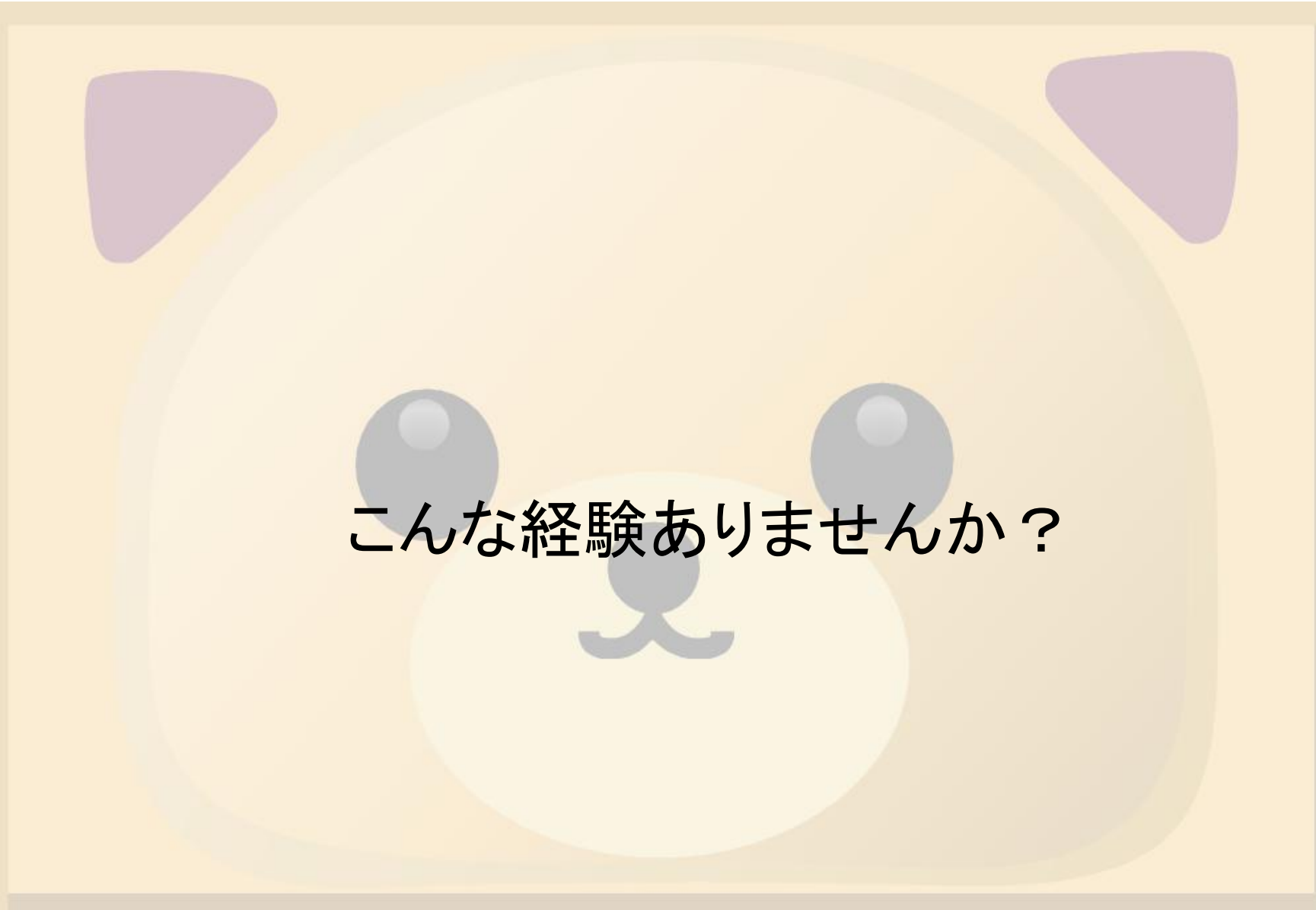
- あひるといいます
- 今年の2月にわんくま入りを果たしました
- 普段は、
 - VB.NETでWebアプリを開発しています
 - どっちかというとな断然C#の方が好きですが、
 - VBに染められつつある今日この頃・・・
- ~~チーム岡田~~ OITECにも参加しています
 - <http://oitec.vbstation.net/>

自己紹介

- 気ままにブログも書いてます
 - <http://blogs.wankuma.com/ahiru/>
 - <http://slowpace.no-ip.biz/blog/>

アジェンダ

- こんな経験ありませんか？
- Wikiってなに？
- 運用のポイント
- まとめ



こんな経験ありませんか？



わんくま
同盟

わんくま同盟 大阪勉強会 #23

こんな経験ありませんか？

- 作ったはずの資料が見つからない
- 文体やレイアウトがバラバラで読みづらい
- フォーマットがバラバラで扱いづらい
- どれが最新か判別不能
- 手順が不明瞭な作業ばかり
 - 誰にでもできそうなのに手順が明確じゃない
 - 暗黙的に「〇〇さんしか分からない」事になっている

問題点1

- 見つからない
 - 保存場所が不確定
 - ファイル名が意味不明
 - 同じような文書が大量に存在する
 - 検索しても該当なし
 - フォーマットが特殊
 - 無駄な装飾を多用している

見つからない＝最初から存在しない

も、同然

問題点2

- そもそもドキュメント化されていない
 - 普段、必要とする情報ほど文書化されない
 - わざわざ文書化するほどの事ではない
 - 文書として形にすると色々と面倒
 - 書いた人に責任と義務がのしかかる
 - 編集する度に関係者に確認をとって回らなければならない
 - そんな時間は無い(と、思っている)

情報提供者へのメリットが薄い？

問題を解決するために

- 持っている情報は、
 - 可能な限り「アウトプット」して
 - 一ヶ所へ「まとめて」
 - ツールを利用して楽に「管理する」
- この3つが重要！

一般的なツール

- グループウェア
 - サイボウズOffice、LotusNotesなど
- CMS
 - XOOPS、Zope、DotNetNukeなどなど
- Wiki
- その他
 - Officeドキュメント (Excel、Word、PDF)
 - プレーンテキスト、HTML

ツールの選択

今回はWikiを使ってみます。

Wikiとは？

- ウェブブラウザを使って誰もがWebサーバ上にあるページを閲覧・編集することができるシステムの総称
- Ward Cunningham氏が考案
- 語源はハワイ語で「ウィキウィキ」
 - 意味は「速い」「素早い」「迅速な」など
- 特有の整形ルールで記述していく
- ページ間のリンクが容易である

Wikiクローン

- MediaWiki
- PukiWiki
- FreeStyleWiki
- YukiWiki
- Hiki
- NWiki
- TiddlyWiki
- ひとりWiki



DEMO

実際に動かしてみます。



どんな風に使ってるの？

- リンク集
 - 開発に役立ちそうなサイトへのリンク集
- 報告・お知らせ
 - イベントの通知、メールからの転載
- ドキュメント
 - セットアップマニュアル、申請書の書き方など
- Tips集
 - クラスライブラリのドキュメント抜粋
 - サードパーティ製コントロールの利用法
 - 開発ツールの使い方

運用のポイント

- 情報の鮮度を落とさない
 - 変更があった場合はできるだけ早く適応する
- 率先してコミットし続けよう
 - アウトプットするのには慣れが必要
 - 書き込むことに対しての敷居を下げたあげると参加しやすくなる
- 加筆・修正は気兼ねなく行う
 - 自信が無ければ、登録者にちょっと確認するだけ
- 強制しない！
 - 本人が必要だと思うことを必要な時に書けば良い

まとめ

個人が持っているほんの些細な情報でも文章として形になり、それが集まることでチームにとって大きな財産となります。

特に経験をつんだベテランさん程、「そんなしょーもない事をいちいち書かなくても」という思いにかられがちですが、そういう情報が実は有効だったりする場面が結構あります。

まとめ

情報をアウトプットするのは、他人のためであり
また、最終的に自分のためにもなります。

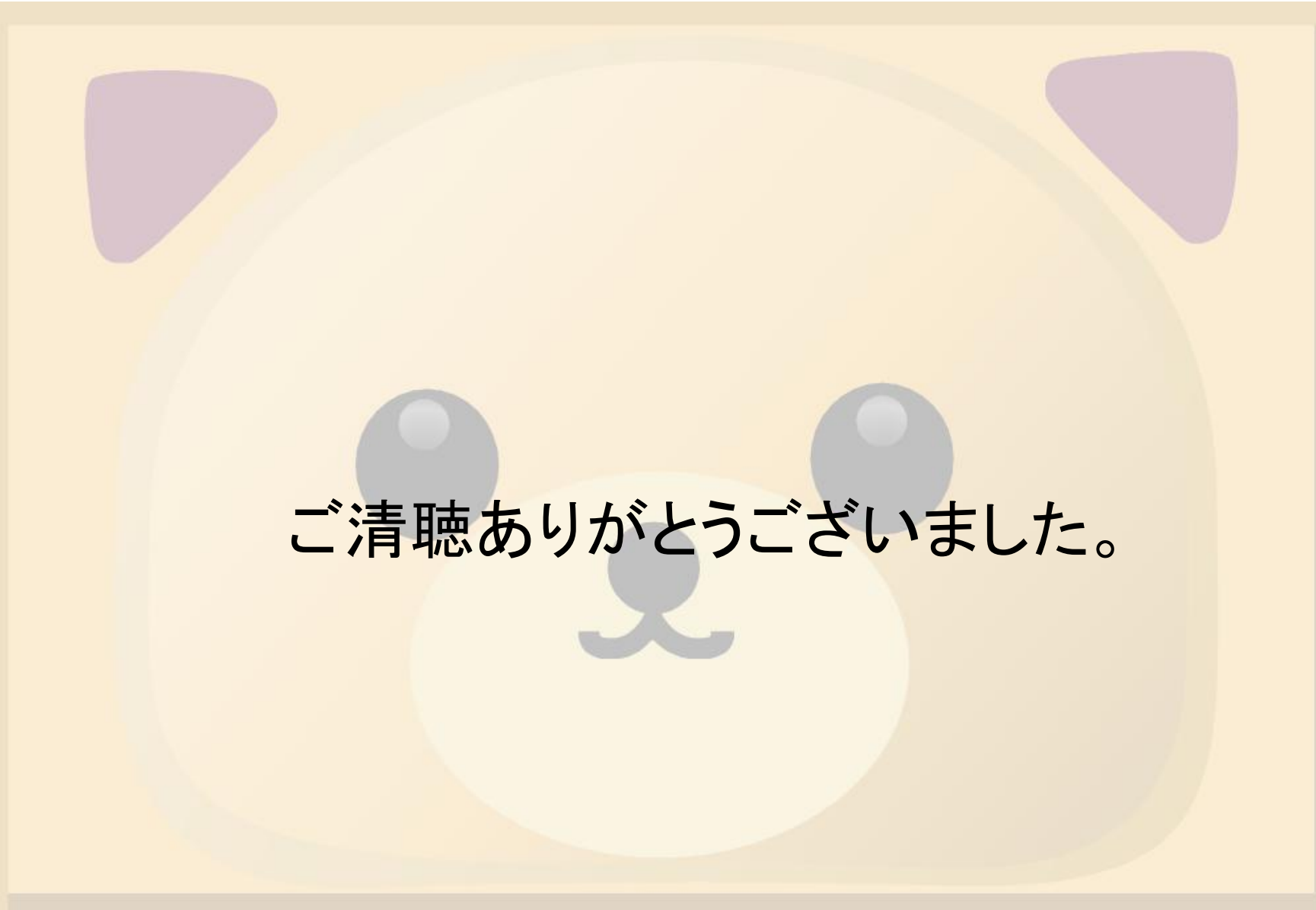
Wikiなどのツールを上手く利用することで、
一緒に行動しているチームのメンバーとの
知識や意識の共有を、少しずつでも進めて
行くキッカケになるといいな、と願っています。



Let's enjoy Wiki.



わんくま同盟 大阪勉強会 #23



ご清聴ありがとうございました。